

マクドナルドは、  
誰もが輝ける場所だと  
信じています



## 千葉寺リブレ京成店(千葉県) マネージャー

### 南雲 かほるさん

なぐも かほる／東京都出身。千葉寺リブレ京成店のグランドオープン時からマクドナルドで働き始め、クルー歴24年。趣味は、学生時代に打ち込んでいたテニスで、現在も週1回のペースで続けている。

## 理解し合うまで

どれだけの人と向き合い続けてきたのだろう。千葉寺リブレ京成店のグランドオープンから24年。おそらく一度たりとも、南雲さんは人と理解し合うことをあきらめたことがない。クルー同士で意見がぶつかり熱くなった時も、仲間の元気がない時も、悩んでいそうな仕草や表情を見た時も、誰かが不満を抱えている時も、「ちょっと話をしよう」と言って優しく手を差し伸べ、一人ひとりの思いを聞いてきた。フィードバックやアドバイスを送る時は、いつも「なぜなら」から始まる。伝えたいことを相手がしっかりと理解し、納得できるように必ず理由を説明してきた。

そうやって、これまで多くのクルーと関わり、送り出してきた。今度はあの人を、次はあの人を。毎日全力でトレーニングと対話を続けていると、いつしか24年の月日が経っていた。「自分が子を持つ母となり、人を大切にする気持ちや責任感がより一層強くなった」と南雲さんは話す。



## マクドナルドの南雲さん

南雲さんは、この店舗の採用と人材育成をリードしてきた。人見知りな人も、元気で明るい人も、ちょっと不器用な人も、すごくまじめな人もいた。そんな中で、一人ひとりの強みを見つけることを彼女は大切にしてきた。「マクドナルドでは、誰もが自分が輝ける仕事を見つけることができるんです」。それぞれの強みを見つけて伸ばす。例え、強みが目立つものでなくても、その人の努力と貢献を必ず認めてレコグニションしてきた。だからこそ、みんなは南雲さんを信頼している。そして、たくさんのクルーの成長と可能性を見てきたからこそ、彼女は人の成長を信じている。

クルーだけでなく、南雲さんは地域のお客様のこともよく知っている。何気ない会話でお客様とつながり、お客様の意見に真摯に耳を傾け、教育実習の中学生を迎え入れ、夏には店舗でイベントを開催し、この地域の方々にとって「私たちのマクドナルド」であり続けることを目指してきた。常連のお客様も、近隣の学校の先生も、店舗が入っているスーパーの店長やスタッフさんも、クルーの親御さんも、みんな彼女を「マクドナルドの南雲さん」と呼んで慕ってくださっている。

## できる限りの愛を

「南雲さんに恩返しがしたいんです」。この店舗には南雲さんを支えてくれる仲間がいる。「南雲さんみたいな視野が広くて一人ひとりに寄り添える社会人になりたいんです」。彼女を目標にこれから社会に羽ばたいていく仲間がいる。「卒店したクルーたちも、みんな南雲さんに感謝しています」。この店舗を巣立った多くの人たちも、彼女に感謝している。

人に思いを伝えるのは簡単ではない。すべての人たちと理解し合うことは難しい。人と真正面から向き合い続けるのは大変だ。それでも、南雲さんはいつも目の前の人たちのためにできる限りの愛情を注いできた。その愛はきっと一人ひとりの心に届いているだろう。彼女の話をする時に、お客様も仲間も、みんな南雲さんのような優しい顔をしているから。